



iPhone と iPad の配備 Wi-Fi



ワイヤレスセキュリティプロトコル

- WEP
- WPA Personal
- WPA Enterprise
- WPA2 Personal
- WPA2 Enterprise

802.1X 認証方式

- EAP-TLS
- EAP-TTLS
- EAP-FAST
- EAP-SIM
- PEAPv0 (EAP-MS-CHAP v2)
- PEAPv1 (EAP-GTC)
- LEAP

iPhone と iPad は、特別な設定をすることなく、企業用またはゲスト用の Wi-Fi ネットワークに安全に接続できるため、場所を問わず利用可能な Wi-Fi ネットワークに素早く簡単にアクセスできます。

iOS は、WPA2 Enterprise などの業界標準のワイヤレスネットワークプロトコルにも対応。安全にアクセスできる企業向けワイヤレスネットワークを素早く構成できます。WPA2 Enterprise では、実績のあるブロックベース暗号化方式である 128 ビット AES が使用されているので、ユーザのデータは非常に高いレベルで保護されます。

iOS は 802.1X に対応し、様々な RADIUS 認証環境に統合できます。iPhone と iPad でサポートされている 802.1X 無線認証方式には、EAP-TLS、EAP-TTLS、EAP-FAST、EAP-SIM、PEAPv0、PEAPv1、LEAP があります。

ユーザは、利用できる Wi-Fi ネットワークに自動的にアクセスするように iPhone と iPad を設定することができます。ログイン資格情報やその他の情報を要求する Wi-Fi ネットワークは、別のブラウザセッションを開かなくても、Wi-Fi 設定またはメールなどのアプリケーション内から素早くアクセスできます。また、電力消費が小さいパッシブ Wi-Fi なので、アプリケーションは Wi-Fi ネットワークを利用してプッシュ通知を配信できます。

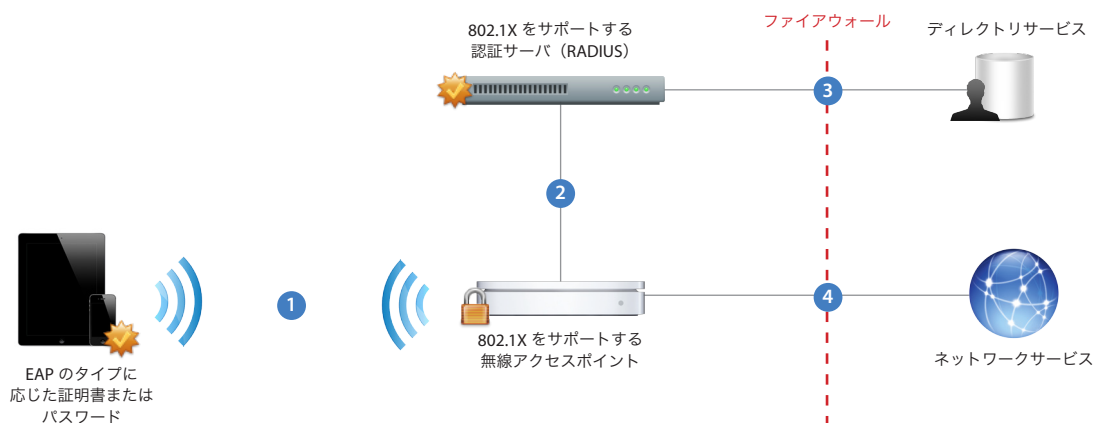
構成プロファイルを使ってワイヤレスネットワーク、セキュリティ、プロキシ、認証設定を構成すれば、設定および配備の時間短縮につながります。

WPA2 Enterprise の設定

- ネットワーク機器の互換性を確認し、iOS が対応している認証タイプ (EAP タイプ) を選択します。
- 認証サーバで 802.1X が有効になっていることを確認し、必要に応じてサーバ証明書をインストールして、ユーザとグループにネットワークアクセス権を割り当てます。
- 無線アクセスポイントを 802.1X 認証用に構成し、対応する RADIUS サーバ情報を入力します。
- 証明書ベースの認証を計画している場合は、公開鍵インフラストラクチャをその鍵配布プロセスでデバイススペースおよびユーザベースの証明書をサポートするように構成します。
- 証明書フォーマットと認証サーバの互換性を確認します。iOS は PKCS#1 (.cer、.crt、.der) および PKCS#12 に対応しています。
- ワイヤレスネットワークの規格および WPA (Wi-Fi Protected Access) に関する資料については、www.wi-fi.org を参照してください。

WPA2 Enterprise/802.1X 配備シナリオ

RADIUS ベースの認証を利用した安全なワイヤレスネットワークの典型的な配備例を示します。



- 1 iPhone と iPad は、ネットワークへのアクセスをリクエストします。ユーザが利用可能なワイヤレスネットワークを選択すると、接続が開始されます。また、以前構成されたネットワークが検出されると、自動的に接続が開始されます。
- 2 リクエストは、アクセスポイントで受信された後、認証のため RADIUS サーバに渡されます。
- 3 RADIUS サーバは、ディレクトリサービスを使ってユーザアカウントを検証します。
- 4 ユーザの認証が完了すると、アクセスポイントは RADIUS サーバの指示に従って、ポリシーと権限をユーザに与え、ネットワークへのアクセスを許可します。